

水俣病の救済へ 初の超党派議連

水俣病問題の全面解決を目指す超党派の国会議員が19日、「水俣病被害者と歩む国会議員連絡会」を作った。発足メンバーは自民、民主、結い、共産、社民、無所属の11議員。水俣病が公式確認されて58年経つが、超党派の議員で結成されたのは初めてという。

熊本、新潟両県などの被

害地域に住んでいたすべての住民の健康調査を国と県に求めるとともに、新たな救済策を探る。

会長に就いた辻元清美衆院議員（民主）は「今までの救済策では最後の一人まで支援・救済していけないのではないか。抜本的な見直しが必要だ」と話した。

水俣病をめぐっては、原因企業チツソの子会社株を売却しやすくする法案が20日にも成立する見通しで、患者団体は「被害者が救済されないままチツソが清算されかねない」と反発している。